

よりそう



第17号

編集責任：水野

(5/13(金)の宿泊：116人、活動：180人)

本日の編集担当者
小泉 辻 村重 水野

封筒一通でできるボランティア

「まごころ種」運動や、てます

野菜・花の種、土やつらうごをまごころネットに送って下さい。

花を育てたいなあ、火田が空しいなあと思いつながら、送る難所生活を送る方々にお届けします。

5/13、14 仕分け作業あります。
細かい作業が得意なあなた、ぜひ。



募集！ 経験者・有資格者

このボランティアセンターでは、外勤・内勤共にボランティアで運営されています。只今のPC入力のできる人 ②事務作業の経験者 ③ボランティアコーディネーター等を募集しています。該当者は受付へ連絡して下さいようお願いいたします。

◆ ボランティアコーディネーターとは

被災地(者)の様々な要望(需用)はボランティアセンターに届きます。一方支援者(供給)もボランティアセンターに登録します。そこで需用と供給を組合せる人が必要で両者をコーディネートする人をボランティアコーディネーターと言います。

◆ この資格は都道府県が主催する養成講座で規定の時間数を受講しトレーニングを修了した者に与えられます。また都道府県は資格取得者を対象にトレーニングの復習機会を設けフォローアップをしています。この仕組みは阪神大震災後に作られ全国で展開されています。

* 私は愛知県で1998年に受講しました。

掲示板がバリエーション！

先日9月ボランティアミーティングにおいて求人ボードやセリハット共有メモの設置場所を再検討する案が出された。その結果、有志の方々の協力により新しく紙合掲示板が設置されています。設置場所は体育館の真ん中入口付近で、イセワカ紙を使い女性でも目を通しやすいつくりになっています。

内容は、今までの求人やセリハットに加え、大槌町稲荷下倉庫、まごころ広場での作業工程表もより出されています。新しく活動に参加される方、また今まで参加されてきた方々、これを機に改めて目を通し、各自で一日の活動の流れを確認してあげましょう。

念願叶い、遠野に

悲惨な震災を見た日から私は3月末の定年退職後す現地に支援ボランティアに行くこと決めていました。長崎の離島志岐の出身である私は本土の勤務も長く長崎大水害や雲仙岳噴火で全員の支援で復興出来たことを忘れてはいません。ここの「まごころネット」も探し直ぐにFAXで申し込みました。再就先の理事長も心良くボランティア休かて送り出してくれました。昨日午後島を出航昨夜は博多のサウナ泊り、東京まで飛び東北新幹線で花巻から釜石線に乗り替えた時、姿勢好から同じ目的地行きを数人確認した時は嬉しかった。16時過ぎやっとな到着。ミーティング後直ぐに編集員も志願しました。現地が判りやすい記事を届けます。(新参者辻)

5/14(土) 天気晴 気温10〜20℃ 降水確率10%